

地 球 温 暖 化 対 策 実 施 状 況 書

1 地球温暖化対策事業者の概要

地球温暖化対策事業者 （届出者）の名称	国家公務員共済組合連合会 名城病院
地球温暖化対策事業者 （届出者）の住所	名古屋市中区三の丸一丁目3番1号
工場等の名称	国家公務員共済組合連合会 名城病院
工場等の所在地	名古屋市中区三の丸一丁目3番1号
業種	医療、福祉
業務部門における 建築物の主たる用途	病院・医療関連施設
建築物の所有形態	自社ビル等（自ら所有し自ら使用している建築物）
事業の概要	医療業務
計画期間	令和4年4月1日 ～ 令和7年3月31日

2 地球温暖化対策実施状況書の公表方法等

公表期間	令和6年7月19日 ～ 令和6年10月17日		
公表方法	○	揭示 閲覧	（場所） 名城病院 用度施設課
		ホーム ページ	（HPアドレス）
		冊子	（冊子名・ 入手方法）
		その他	（その他詳細）
公表に係る問合せ先	052-201-5311		

3 地球温暖化対策の推進に関する方針及び推進体制

(1) 地球温暖化対策の推進に関する方針

当院は医療関係の整備・充実を行いながら、地球温暖化対策を始めとする地球環境保全の重要性を認識し、次世代に豊かな環境を残す努力をします。	
1. 廃棄物の抑制・リサイクルの推進	
一般廃棄物について、一層の減量と分別・リサイクルの推進を目指します。	
2. 省資源・省エネルギー活動の推進	
二酸化炭素の排出量を令和6年度までに令和4年度比3%削減を目指します。	
3. グリーン購入の推進	
物品の購入に際して、環境負荷の少ないものの購入を目指します。	
4. 院内教育の推進と患者様への協力要請	
職員に地球環境保全の教育を進めるとともに、患者様にも節電・節水等の協力を求めます。	

(2) 地球温暖化対策の推進体制

地球温暖化対策推進委員長	事務部長
地球温暖化対策推進副委員長	用度施設課長
推進委員	各所属長
	↓
	全職員

4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 2 年度目（令和 5 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		3, 243	t-CO ₂
（温① 二室を 酸効除 化果く 炭ガス 素換排 算）出量	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO ₂
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	④メタン		t-CO ₂
	⑤一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑨三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO ₂
	温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）	3, 243	t-CO ₂

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

（1）温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	総排出量
------------------	------

項 目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績				
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度		
温室効果ガス 総 排 出 量	3, 455	t-CO ₂	3, 352	t-CO ₂	3, 347	t-CO ₂	3, 243	t-CO ₂	t-CO ₂
削減率（対 基準年度）			3. 0	%	3. 1	%	6. 1	%	%
温室効果ガス みなし総排出量					t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂
削減率（対 基準年度）					%		%		%

項 目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績				
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度		
原単位あたりの 排 出 量									
削減率（対 基準年度）				%		%		%	%
原単位あたりの みなし排出量									
削減率（対 基準年度）						%		%	%

（2）進捗状況に対する自己評価（目標の達成／非達成の理由）

令和5年度の温室効果ガス総排出量は基準年度（令和3年度）に対し削減率6.1%であり、目標である3.0%を大きく上回った。これは令和4年12月に完成した院内照明のLED化が年度を通じて電気使用量低減(対基準年度7.7%減)に寄与したものである。これにより、最終年度である令和6年度温室効果ガス総排出量についても実績値として対基準年度(令和3年度)削減率6.1%を達成したいと考える。

備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。

備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。

備考3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。

備考4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び再生可能エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
省エネルギー・省資源の行動の実践・冷暖房、給湯	・熱源と空調機器の運転時間変更による動力の低減 ・冷水、温水2次ポンプの台数制御の高効率化による動力の低減・空調用給気ファン、排気ファンの運転時間の見直しや間欠運転の導入による動力の低減 ・使用していない部屋の空調停止の徹底	・冷温水発生機の運転時間短縮を実施する ・外調機の運転時間短縮を実施する ・使用していない病室等の空調停止を実施する	・冷温水発生器、外調機の運転時間短縮を図っている。 ・各会議体等を通じて職員の共通認識とし実施している。
省エネルギー・省資源の行動の実践・照明	・各部屋不使用時の消灯徹底 ・職員用施設の照明の見直し ・館内照明のLED化	・未使用の病室等の消灯を実施する ・照明の間引き行う ・館内照明LED化を令和4年度中に実施する(計画)	・各会議体等を通じて職員の共通認識とし実施している。 ・職員用施設及び機械室等の照明を見直した。 ・全館照明のLED化を令和5年3月に完了した。引続き表示灯類のLED化を検討している。
省エネルギー・省資源の行動の実践・OA機器	・パソコン、コピー機等の退社時の電源OFFの徹底 ・省エネに優れたPC、プリンタ、複写機への入替	・パソコン、コピー機等のスリープモードの利用や退社時電源OFFを実施する ・旧型機器を早期かつ優先的に入れ替える	・スリープモードはPC設置時の標準設定としている。 ・システム導入に合わせPC等機器の更新を実施した。
省エネルギー・省資源の行動の実践・その他	・エレベーター・エスカレータ運転時間の短縮及び運転台数の見直し ・省エネ型自販機への入替	・エスカレータの運転時間の削減は継続する。 ・エレベータの運転台数を時間により制御する ・自販機設置業者により省エネ性能が高い機器への早期入替を要請する	・エスカレータは平日8:00～13:00の運転としている。(継続実施中) ・職員の2階間移動については原則として階段を利用するよう指導した。 ・4月に自販機設置業者の変更があり、その際に省エネ性能の高い機器を設置した。
自動車利用における取組	・来院時PHV・EVを使用しやすい環境の設備 ・会有車をハイブリッド・PHV・EVへ入れ替える	・外来者駐車場へ充電装置を設置する。 ・次回車検時に入替える	・来訪者の要望と駐車場の状況を勘案し検討を進める。 ・会有車のHV等への入替えは用途に適合した車種がなく今回は見送りとした。

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 2 年度目（令和 5 年度）における利用の状況

導入年度	設備等の種類	概要（規模、性能、発生エネルギー量等）

イ 上記のうち、他のものに供給した電力及び熱

区 分	再生可能エネルギーの種類	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
電 力		t-CO ₂
熱		t-CO ₂

(3) 環境価値（クレジット等）の活用状況

計画期間 2 年度目（令和 5 年度）におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

(4) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量（みなしの削減量）の合計

t-CO ₂

(5) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

特にありません。

(6) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

特にありません。